

平成21年度 重点的な取り組み内容

ポイント

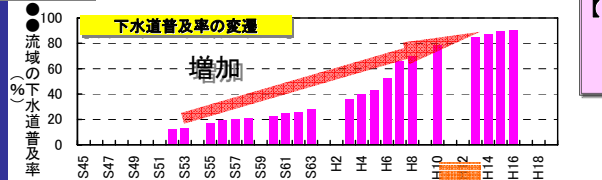
- 陸域負荷削減に向けた各種施策の推進
- 生物生息場の再生に向けた検討の具体化
- 水質等連続観測の実施
- アウトカム指標を用いた効果評価の試行
- 効率的・効果的な施策の検討
- 大阪湾再生の取り組みに係る表彰制度の導入

① 陸域負荷削減施策の推進

- 各種汚水処理の対策
 - ・下水道、農業集落排水、浄化槽等の整備による生活排水処理の推進[各府県市]
- 下水道の合流改善
 - ・合流式下水道緊急改善計画に基づく「貯留施設、ろ過スクリーン設置」等による合流式下水道の改善[各府県市]
- 河川浄化事業等の推進
 - ・大和川水系、寝屋川水系での河川浄化施設設置[近畿地方整備局、大阪府、奈良県]
 - ・河川等の浄化浚渫の実施: 琵琶湖流域 平湖・柳平湖[滋賀県]
寝屋川水系及び樫井川[大阪府]
- 陸域負荷削減効果の評価とアピール
 - ・大阪湾集水域における下水道整備等による河川水質の改善等の効果の評価及びそのPRの実施[陸域G]

陸域負荷削減対策とその効果(イメージ)

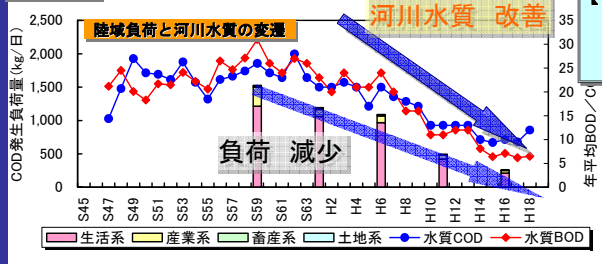
対策



【対策】

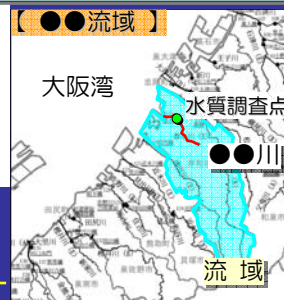
- ・下水道整備(高度処理、合流改善)
- ・河川浄化施設整備
- ・森林整備 等

効果



【効果】

- ・河川水質の改善
- ・生物生息状況の向上 (アユ産卵、ホタルの出現) 等



-2-

②海域における環境改善対策の推進

●水質改善: 浚渫土砂の有効活用による大阪湾内の窪地修復に向けた検討の継続

- ・大和川河口浚渫土を活用した窪地埋め戻しの試験施工[近畿地方整備局]

●多様な生物の生息・生育場の再生

藻場、干潟整備の継続

- ・干潟(堺泉北港堺2区人工干潟、堺泉北港泉北6区先端緑地整備等[大阪府])
- ・藻場(樽井地先での増養殖場造成事業[大阪府])

浅場整備に向けた検討の具体化

- ・干潟・浅場(尼崎西宮芦屋港尼崎運河[兵庫県])
- ・生物共生型護岸(堺2区北泊地[近畿地方整備局])

●親水性の向上: 港湾緑地など親水拠点のさらなる拡大

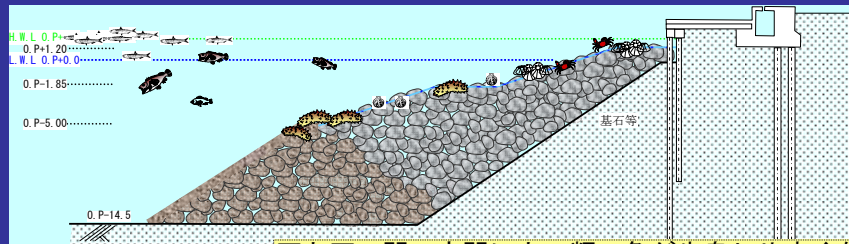
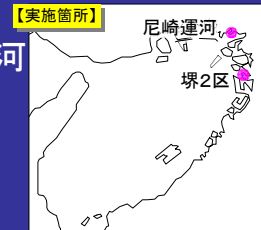
- ・緑地整備の継続: ポートアイランド(第2期)西緑地[神戸市]
尼崎の森中央緑地(尼崎臨海部)[兵庫県]
堺2区基幹的広域防災緑地[近畿地方整備局]
堺7-3区共生の森[大阪府]

-3-

●浅場整備に向けた検討の具体化

→護岸等の既存施設の改良による生物生息場再生の検討の具体化

- ・干潟・浅場：尼崎西宮芦屋港・尼崎運河
- ・生物共生型護岸：堺2区北泊地



石と石の間の空間にカニ類、魚が生息しやすくなる

堺2区北泊地付近での生物共生型護岸(イメージ)

-4-

③大阪湾再生のためのモニタリング

●環境の監視

大阪湾再生水質一斉調査

・調査の継続及び琵琶湖・淀川流域圏再生推進協議会との連携[全体G、モニタG]

水質連続測定【新規着手】

・観測施設の設置[近畿地方整備局]

●環境改善施策の効果把握

住民と連携した生き物一斉調査

・調査の継続・発展[近畿地方整備局]

アウトカム指標(試行)によるモニタリング

・今年度選定した新たな指標(7項目)のモニタリングの実施[各主体]

●汚濁機構解明: 既往調査結果を活用した汚濁機構解明の検討

・汚濁機構解明の検討のため、海洋レーダー及び水質モニタリング結果を用いたシミュレーションモデルの精度向上[近畿地方整備局・大学との共同研究]

●青潮現象に関する現況把握

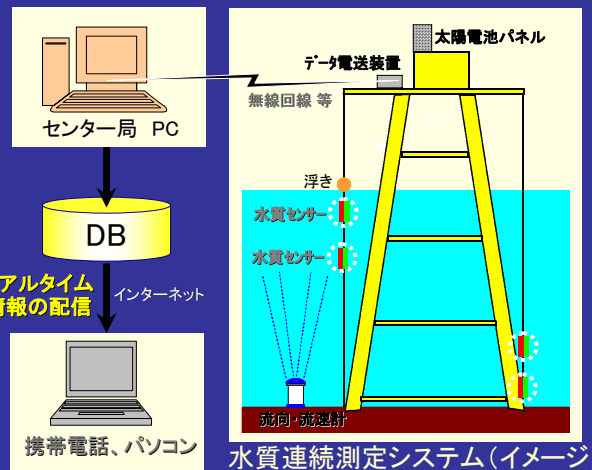
・情報の収集・整理、検討の継続[モニタG]

-5-

●水質連続測定【新規着手】

→『水質連続測定』システムの構築を目指した
観測施設の設置

目的:大阪湾の環境改善施策の効率的・効果的な展開
内容:時空間に密度の高い情報の収集・配信を行う



水質連続測定システム(イメージ)

-6-

④アピールポイントにおける 集中的・先駆的な取り組み

- 尼崎臨海部や堺浜周辺等での海陸連携の継続実施
 - ・尼崎運河等での取り組み[兵庫県ほか]
 - ・堺2区での生物共生護岸整備[近畿地方整備局]
- アピールポイント改善後のイメージの検討
 - ・改善後の効果がわかりやすいイメージの検討

⑤実験的な取り組み 積極的な市民参画の取り組み拡大

- NPO等との連携の強化
 - ・各種市民参画の取り組みのさらなる推進、清掃活動等の市民主導による取り組みの拡大[関係各機関]
- 環境学習等の取り組みの継続・発展
 - ・大阪湾・集水域での環境学習の継続・発展、シンポジウム等での発表機会の拡大[関係各機関]

-7-

⑥新たな取り組みの継続など

- **広報の強化**:大阪湾再生についての積極的なPR
 - ・大阪湾再生ホームページの情報拡充[近畿地方整備局]

- **大阪湾再生による効果の把握と見直し**

アウトカム指標による評価【新規着手】

- ・今年度選定した新たな指標(7項目)による効果評価の試行
[モニタG、全体G]

アウトカム指標を用いたアピールポイント改善後のイメージの見直し【新規着手】

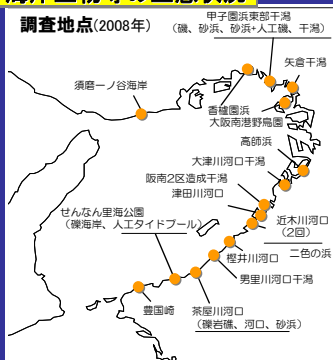
- ・改善後の効果がわかりやすいイメージに見直し[全体G]

●アウトカム指標を用いた効果評価の試行

→新たに設定した7つのアウトカム指標による効果評価の試行

- ①底生生物の生息状況
- ②海岸生物等の生息状況
- ③透明度
- ④赤潮の状況
- ⑤環境教育・学習の参加者数
- ⑥大阪湾に対するイメージ
- ⑦クリーンアップキャンペーンへの参加者数

海岸生物等の生息状況



イメージ



●アウトカム指標を用いたアピールポイント

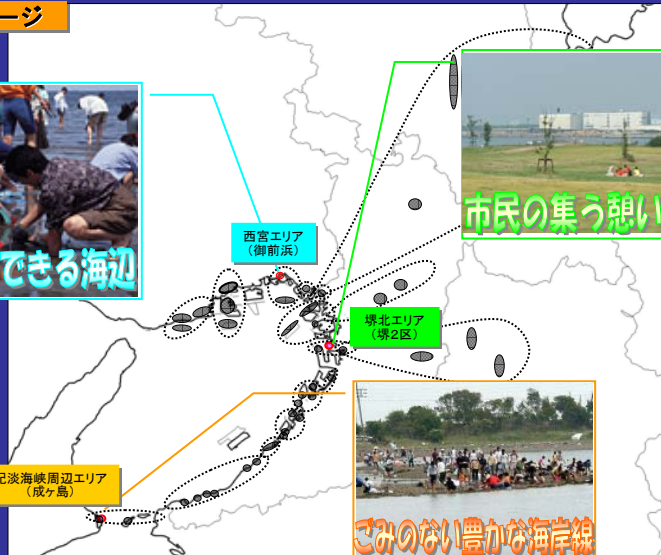
改善後のイメージの見直し

→改善後の効果がわかりやすいイメージに見直し

イメージ



潮干狩りのできる海辺



市民の集う憩いの海辺



ごみのない豊かな海岸線

-10-

⑥新たな取り組みの継続など

●効率的・効果的な施策の検討

目標達成に必要な施策の方向性の抽出

- ・水質シミュレーションによる各種施策の効果の検討、
目標達成に必要な施策の検討[全体G]

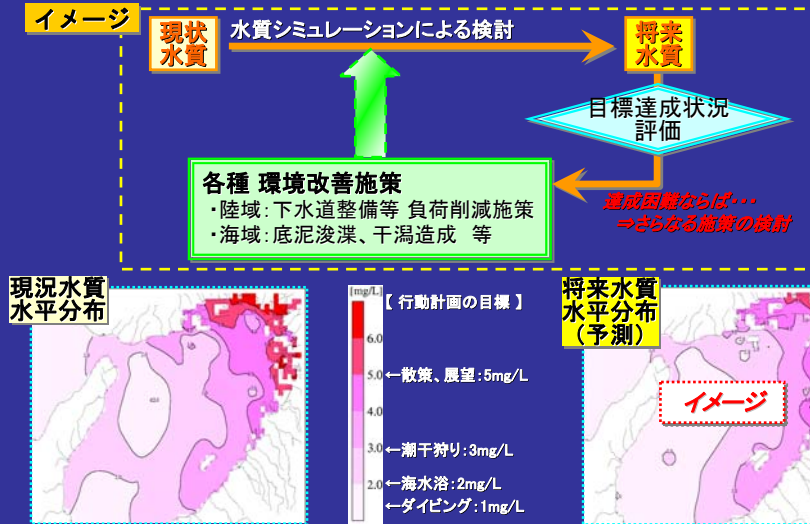
行動計画期間を見据えた取り組みの重点化等の検討

- ・今後重点的に取り組むべき施策の方向性・内容の検討[各G]

-11-

●効率的・効果的な施策の検討

- 水質改善に向けた効果的な施策の抽出
- 水質シミュレーションによる施策効果・目標達成に必要な施策の検討



-12-

⑥新たな取り組みの継続など

●学識者、市民・NPO、産業界等との連携の強化

表彰制度の導入【新規着手】

- ・NPO・市民団体・企業等の大阪湾再生に関する活動の表彰による連携強化や取り組みの活性化[全体G]

-13-

●大阪湾再生の取り組みに係る表彰制度の導入
→NPO・市民団体・企業等のお阪湾再生に関する活動を
表彰し、連携強化や取り組みの活性化を図る。

【期待される効果】

- ・大阪湾再生に向けた取組の活性化
- ・一般市民や市民団体等との連携強化(ネットワーク化)
- ・大阪湾再生のPR

【表彰対象活動の例】

